

# 華鳥風月



嗚呼 華のように鮮やか 啊 像花那樣鮮豔 颯

に さあ

嗚呼 鳥のように優雅に

嗚呼 風まかせも心地良

い さあ

嗚呼 月明かり照らされ

て

啊 像鳥那樣優雅

啊 憑風拂面也很舒服

颯

啊 明月光輝照耀世間

---

正しさなんてもの

人の物指しによって変わる

この世界 不変あるとするならば

華鳥風月 厳かで美しいもの

所謂的正確與否

會根據人的判斷而改變

這個世間 要說不變的事物 唯有

花鳥風月 這些莊嚴而美麗的事物

---

後悔をして 学び また歩もう

二度と過ち 繰り返さぬように

歴史とは 変わらぬ感情が

廻り廻って 傷つけて和解された

世界の成長

經歷過後悔 學會教訓繼續前行

不要讓錯誤再一次重複發生

所謂的歷史 也就是不變的感情

峯迴路轉 相互中傷又和解

也是世界的成長

---

正しさなんてもの  
大人にも分からない幻想

この世界 不変あるとす  
るならば  
華鳥風月 穏やかで懐か  
しきもの

---

汚れぬことが  
正義なのだろうか？  
過ちの中にあるけじめに

魅せられ知った 穢れを  
恐れぬ愛も  
正しさと言うこと

---

形無いからこそ  
感じようと思える  
それも 生けるものすべ  
て内側に持つ  
華鳥風月 測れないから  
意味がある  
だからこそ 愛を彷徨う

所謂の正確與否  
更多是連大人都無法理解  
的幻想

在這世間 要說不變的事  
物 唯有  
花鳥風月 這些穩重而令  
人懷念的事物

---

不同流合污  
就能算是正義了麼？  
一次次犯錯中 尋找每次  
的區別

被魅惑後又知情 卻還無  
懼於污點的愛  
也能說是正確的吧

---

正因為沒有形狀  
所以纔更想去感受到  
這一點也 讓它存在的原  
因全都是發自內心  
花鳥風月 因為無法測量  
所以纔有意義  
正因如此 纔會在愛中彷  
徨

---

悲しめる心も	讓人悲傷的心也
怒れる優しささえも	就連讓人憤怒的溫柔也
きっと 生けるものすべ	一定是 讓它存在的原因
て内側に持つ	全都是發自內心
華鳥風月 何処までも美	花鳥風月 無論何處 都
しくなれ	美麗動人
いつまでも美しくあれ	無論何時 都美麗動人

---

《花鳥風月》，算是比較著名的東方改編曲了，因為作為《幻想万華鏡》的片頭片尾曲，配上了動畫的片段，算是對整個東方正作故事中描繪事物的總結。就像我第一篇翻譯的歌詞《童遊》因為是對神主ZUN自己的主題曲《童祭》的重新譜詞而有了總起的性質，這篇《花鳥風月》也因為用在《幻想万華鏡》而有了總結的性質。

---

あゝ	はな	あざ	
嗚呼	華	のように 鮮	やかに さあ
あゝ	とり	ゆうが	
嗚呼	鳥	のように 優雅	に
あゝ	かぜ	こころ	よい
嗚呼	風	まかせも 心地	良い さあ
あゝ	つき	あ	て
嗚呼	月	明かり	照らされて

---

ただ  
正しさなんてもの  
ひと もの さ か  
人の物指しによって変わる

この<sup>せかい</sup>世界 不<sup>ふへん</sup>変 あるとするならば  
かちょうふうげつ おごそ うつく  
華鳥風月 厳 かで 美 しいもの

---

こうかい まな あゆ  
後悔 をして 学 び また 歩 もう  
に ど あやま く かえ  
二 度 と 過 ち 繰 り 返 さぬように  
れきし か かんじょう  
歴 史 とは 変 わらぬ 感 情 が  
めぐ めぐ きず わかい  
廻 り 廻 っ て 傷 つけて 和 解 された  
せかい せいちょう  
世 界 の 成 長

---

ただ  
正 しさなんてももの  
おとな わ げんそう  
大 人 に も 分 からない 幻 想  
せかい ふへん  
この 世界 不 変 あるとするならば  
かちょうふうげつ おだ なつ  
華鳥風月 穏 やかで 懐 かしきもの

---

けが  
汚 れぬことが  
せいぎ  
正 義 なんだろうか？  
あやま なか  
過 ち の 中 に ある け じめ に  
み し けが おそ あい  
魅 せられ 知 った 穢 れを 恐 れぬ 愛 も  
ただ い  
正 しさ と 言 う こと

---

かたち な  
形 無 いからこそ

かん おも  
感 じようと 思 える

それも い 生 けるものすべて うちがわ も 内側 に 持 つ

かちょうふうげつ はか いみ  
華鳥風月 測 れないから 意味 がある

だからこそ あい ほうこう  
愛 を 彷徨 う

---

かな こころ  
悲 しめる 心 も

おこ やさ  
怒 れる 優 しささえも

きっと い 生 けるものすべて うちがわ も 内側 に 持 つ

かちょうふうげつ どこ うつく  
華鳥風月 何処 までも 美 しくなれ

いつまでも うつく  
美 しくあれ

---



巡って廻って (Pixiv 72616493)